



自治会活動に参加しませんか

ごみの収集場所、夜道を照らす防犯灯、通学路の見守り、防災・防犯パトロール…。これらは、全て自治会の協力により成り立っているのを知っていますか。本市にも、より良い地域づくりのために、日々活動している自治会があります。
☎市民協働課 ☎70・5640

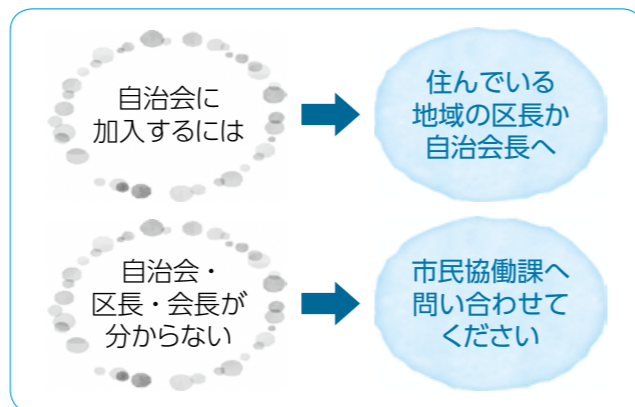
少子高齢化が進み、地域でのつながりが希薄化している現代社会の中で、近所付き合いの機会が減るとともに、自治会に加入しない方が増えてきています。一方で、環境衛生、犯罪、そして災害などの不測の事態など、地域にはさまざまな課題があります。こうした課題の中には、個人や家庭だけでは解決できないものもあります。自治会ではさまざまな事業をとおり、地域住民同

士の交流、地域のつながりづくりに取り組んでいます。活動を共にすることで、近所同士の交流が生まれ、協力し合える関係を育み、いざというときに助け合える大きな力となります。地域住民同士で、助け合いながら課題解決に取り組むことで、住みよいまちになっていくのではないのでしょうか。自治会に加入して、活動に参加してみませんか。回覧板を手渡すことから始めましょう。

どんな活動をしているの？

- **地域の安全安心を守る**
防犯パトロールや通学路での見守り活動など、安全で安心して暮らせるまちづくりに努めています。
- **住みよい環境を作る**
可燃ごみや資源物収集所の管理や清掃、地域内の美化活動など、誰もが住みよい環境づくりに努めています。
- **災害に備える**
災害発生時、自助による災害への備えはもちろんですが、日頃から隣近所の連携を深めておくことが大切です。自治会を中心とした自主防災組織による訓練や資機材の備蓄により、万が一に備えています。自助に加え、共助というセーフティネットが広がります。
- **親睦を深める**
運動会や盆踊りなどのレクリエーション活動で、地域の連帯感を高めるよう努めています。
- **広報活動で情報共有**
自治会広報紙の作成をはじめ、回覧板や掲示板でさまざまな情報を地域に提供することで、住民相互で情報を共有し、快適な日常生活を送れるよう努めています。

- **行政とのパイプ役**
地域の皆さんからの要望を行政へ、行政からのお知らせを地域の皆さんへ、伝えています。
- **集会施設の管理・運営**
自治会館をはじめとする集会施設の管理・運営を行っています。自治会員を中心に地域の方が集まって、交流を深めることができます。



子どもの非認知能力を育む 2つの講座を開催



乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期です。「生きる力」を育むための、他の人とうまく関わる力、目標に向かってがんばる力、感情をコントロールする力などを非認知能力と呼びますが、この能力を伸ばすために大切なことの一つは、乳幼児期の親との関わり方といわれています。市では、同能力育成の一助となるような講座を開催しています。ぜひ、参加してみてください。
☎子育て支援センター ☎77・1121

親子の絆を深めるコミュニケーション ～親子の対話の時間～

遊びをとおして、感動する心や前向きな心の育て方を学びます。講師は桜美林大学非常勤講師の梶谷久美子さんです。
☎2月18日(月)10時～12時 ☎同プラザ ☎市内在住の1～2歳の子どもと保護者 ☎30組(申込順) ☎1月16日～2月5日に同センターへ電話か直接



親子で楽しむランチ会

親子で簡単な調理を楽しみながら栄養バランスの取れた食の体験や簡単なメニューを知り、規則正しい食生活や栄養バランスの取れた食事の大切さを学びます。
☎2月16日(土)11時～12時30分 ☎保健福祉プラザ ☎市内在住で2歳以上の未就学児と保護者(初めて参加する方優先) ☎20組(申込順)。2歳未満の保育あり(☎4人。申込順) ☎飲み物 ☎1月16日～2月2日に同センターへ電話か直接



教育ジャーナルに市の取り組みが掲載されました

月刊誌「教育ジャーナル」1・2月号に同能力や、市の取り組みが取り上げられました。記事は、市ホームページでも見ることができます。



被災地から学ぶ 防災講演会



昨年は西日本豪雨、大阪北部地震、そして北海道胆振東部地震と、大規模災害が各地で発生しました。同様の災害が市内で発生した場合、避難所での生活を余儀なくされることがあります。その時、あなた自身は避難所で何ができるでしょうか。また、すべきこととは何でしょうか。テレビなどでも活躍する市防災アドバイザーの国

崎信江さんを講師として、「避難所生活、主役は“あなた”」をテーマに、被災地から学んだ心得や、今日からできる防災対策について分かりやすく解説します。
☎2月17日(日)10時～11時30分 ☎オーエンス文化会館 ☎50人(申込順) ☎2月8日までに氏名、連絡先を危機管理課 ☎70・5641 ☎同課



国崎信江さん